

東日本大震災
あの日を未来につなぐ、宮城のいま。

2021.3.11

NOW IS.

Vol.
58
March, 2021

ナウイズ
毎月11日発行

最終号 特集

復興10年ロングインタビュー

サウンドウイツチマン

【最終号 特集2】

NOW IS・ハイライト

2016VVV2021

未来へ進む・未来へ伝える

復興のまちめぐり

宮城県知事インタビュー

宮城はここまですり着きました。
10年間分の「ありがとう」を込めて。



沿岸部のまちは10年で

ものすごく変わった！



NOW IS. LONG INTERVIEW

復興10年 サンドウィッチマン ロングインタビュー

東日本大震災の発生以来、宮城を応援し続けているサンドウィッチマン。
お二人が感じる宮城の「いま」を語っていただきました。

SANDWICHMAN・NOW IS. SPECIAL LONG INTERVIEW



前向きに頑張っている人が
とっても多いですよ。

東北人らしからぬ
スピードで
変わっていくまち。

—東日本大震災の発生から10年が経過して、復興の現状をどうとらえていますか？

伊達…沿岸部のまち、ものすごくきれいになりましたよ。震災を思い出すようなものも多くなっています。数年前にはすでになくなくなりましたけど、そこからもう一段階変わっている。もっと人を呼べるような何かを、それぞれの地域でしっかりと考えている感じがします。震災前にはなかった施設も増

えだし、ある意味、震災前以上のまちができてきているような。

—サンドウィッチマンのお二人は、震災発生時、取材で気仙沼市にいましたよね。気仙沼市は、震災前と現在で、どう変わったように思いますか？

伊達…あの時は、古い港町という印象でした。街並みもレトロで。あと、とにかく人がいなかった。魚市場の目の前のあるパチンコ店をひよいてのぞいたら、2人しか打ってなかったですからね。今の気仙沼は、すごくおしゃれ！
富澤…うん、とにかくおしゃ

れだよ。

伊達…すごいですよ。内湾に面してカフェやレストランがあったりして。観光客も来てるしね。こんなに変わると、まちをつくっている人は面白いだろうな。

—他に印象に残っているまちはありますか？
伊達…いっぱいありますよ。名取市開上の「かわまちてらす開上」もいいですよ。川に面した商店街で、ロケーションも良く、あそこみたいに、他の地域から入ってきた人たちが、沿岸部で商売を始めているのも面白いですね。

—確かに「かわまちてらす開上」には、もともと開上に住んでいた事業者の方以外にも、たくさん出店していますもんね。

伊達…震災前を知らない人たちも一緒に新しいまちをつくってくれているって感覚もあります。石巻も、他の地域から移住してきている人が多いでしょう。そういう人たちが元々住んでいた人だけでは思い描けないようなことを、考えてくれるような印象があります。こんないい場所があるんだから、これを活かそう、海のそばにこんなものをつくったらどうだろう、って。

富澤…若い人が戻ってきている、新しいことをやっている、ということも多いですね。それから、あの時、ボランティアに来てくれた人とのつながりが今も続いている、何かをやる時にその人たちが助けてくれたり、ということも聞きます。そういう人が、東北のいいものをどんどん見つけて、発信してくれていますね。

伊達…若い人、確かに増えていますが、震災前と比べても、ただ、一方で漁業者の高齢化が進んでいるなどというのは、すごく感じます。そういう

ところにも注目してもらえようになっただけいいなと思いますね。

—東北は保守的なイメージもあるエリアですが、変わってきている感じがありますか？

伊達…もちろん。震災では本当にたくさん失ったものがあるんですが、よく考えると得たものもあるなと思います。東北人らしからぬ復興のスピードだと思えますよ。いろんな人の意見を聞いて、すごく前向きになってる人が多いと思います。復興のスピードが遅いと言人もいますが、僕らはそんな風に思わないし、非常に順調だと思います。

富澤…東北に住んでいる人は、毎日そんなに景色が変わらないから遅いと思うのかもしれないですけど、たまに沿岸部に行く僕たちからすると、すごく変わってたりする。

伊達…一生懸命働いてる人がいっぱいいますからね。ダンブカーもいまだにたくさん走っている。そういうのを見てみると、遅いとは口が裂けても言えません。

震災をきっかけに
全国に注目された
宮城の「いいもの」。

—被災地の復興は進んでいますが、一方で、ここは変わらないなと思うところはありますか？

すか？

伊達…やっぱり住んでいる人たちの人柄じゃないでしょうか。震災後に移住してきた人たちに話を聞くと、「人がすごくいい」「みんなすごく優しく、住みやすい」と言っていて、それは、我々もすごく誇りに思います。

—サンドウィッチマンさんご自身も人柄の良さは感じますか？
伊達…感じますよ。宮城の人って、俺はいいから、私はいいいからという、控えめな性格の人が多くじゃないですか。それって裏を返せば、「私はいいいからあの人にやってあげて」っていうことですよ。そういう内に秘める優しさが、東北人だっていう感じがします。

—お二人は、震災直後、「10年後の宮城」をどう想像していましたか？
伊達…うーん、イメージできませんでした。もうぐちゃぐちゃでしたから。あの時の姿を見てみると、10年で何ができるんだろうって思いました。

富澤…がれきを片づけるのも、もっと時間がかかるだろうと思っていました。そういう意味では、10年でここまで建物が増えたりするんだな、と。伊達…人のパワーってすごいなと思いますよ。自然の力



みやぎは米なんです：応援ver(2020年)

介護イメージアップポスター(2020年)



震災復興ポスター(2017年)

アートカフェバーSEASAW(シーソー)にて。(「NOW IS.」vol.8より)



2016年の「NOW IS.」vol.8では、宮城県多賀城高校の「災害科学科」を訪れました。



“ 僕らが頑張ることで発信していきたい。 ”

“ 宮城の元気を伝えなきゃという使命感があります。 ”

伊達：「東日本大震災から10年。お二人はこの10年をどうとらえていますか。」

富澤：「今はもう言ってますけどね。伊達：「死んでいうワードをちょっと速さけてました。あまりにも目の当たりにしたので。簡単に言っちゃいけない言葉だと思って。」

伊達：「自分たちが言いたくなくなってきたことはありました。5年間くらいは言えなかったですね。」

伊達：「テレビで見ない日はないほど活躍なさっているお二人ですが、宮城県でもたくさんお仕事をしていますよね。地元の仕事は、どういう気持ちで臨んでいらっしゃいますか。」

伊達：「自分たちが言いたくなくなってきたことはありました。5年間くらいは言えなかったですね。」



サンドウィッチマン

PROFILE 宮城県出身の伊達みきお、富澤たけしが1998年に結成したお笑いコンビ。2007年のM-1グランプリで王者に輝き、計算つくさされたコンパレック。東日本大震災発生時、気仙沼で被災したあと、3月12日に発信したブログ「みんな頑張れ!」は多くの人に感動と力を与えた。「東北魂」チャリティグッズの販売、被災地への訪問活動など、現在も被災地支援に力を入れている。

伊達：「お二人が設立した被災地応援基金「東北魂」は今後も続けていきますか?」

伊達：「最初は震災遺児に渡るようにしていたんですけど、今はそのお金が整ってきているようなので、今後は違う寄付先も考えたいと思っています。子どもが遊べる遊具とか、ベンチにするとか。」

伊達：「どういうところに寄付しているんですか?」

伊達：「最初は震災遺児に渡るようにしていたんですけど、今はそのお金が整ってきているようなので、今後は違う寄付先も考えたいと思っています。子どもが遊べる遊具とか、ベンチにするとか。」

伊達：「どういうところに寄付しているんですか?」

伊達：「お二人が設立した被災地応援基金「東北魂」は今後も続けていきますか?」

伊達：「最初は震災遺児に渡るようにしていたんですけど、今はそのお金が整ってきているようなので、今後は違う寄付先も考えたいと思っています。子どもが遊べる遊具とか、ベンチにするとか。」

伊達：「どういうところに寄付しているんですか?」

伊達：「最初は震災遺児に渡るようにしていたんですけど、今はそのお金が整ってきているようなので、今後は違う寄付先も考えたいと思っています。子どもが遊べる遊具とか、ベンチにするとか。」

伊達：「どういうところに寄付しているんですか?」

PICK UP Vol.30

PICK UP Vol.28

PICK UP Vol.6

PICK UP Vol.4



in 岩沼・亶理
パンダライオンさん



in 気仙沼
畠山美由紀さん



in 名取
小池亮介さん



in 塩竈
平間至さん



in 女川
熊谷達也さん



in 東松島
木村拓哉さん



in 石巻
高橋ジョージさん



in 名取
名取裕子さん



in 仙台
岩田華怜さん



in 松島・東松島
宮藤官九郎さん

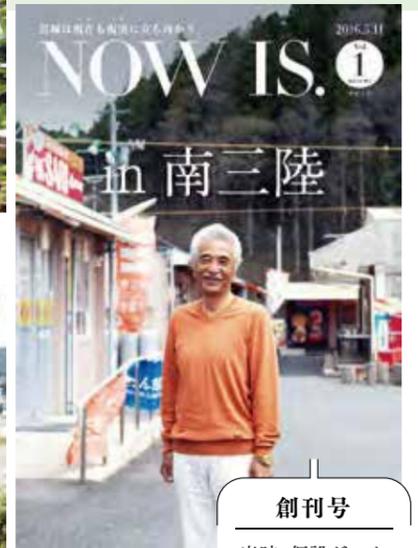


in 岩沼
菅山かおるさん



in 女川
千葉直樹さん

2016.5.11 発行



創刊号

当時、仮設だった
商店街の前で。



in 仙台・名取
黒羽麻璃央さん



in 松島・七ヶ浜
稲垣潤一さん



in 岩沼・亶理・山元
MEGUMIさん



in 気仙沼 唐桑
SAMURAI JAPAN
PROJECT・Rakeさん



in 七ヶ浜・多賀城
犬山紙子さん



in 山元
岩田華怜さん



in 南三陸
仙台89ERS
志村雄彦さん



in 石巻 林家たい平さん



in 山元
原綾子さん



in 塩竈・利府
狩野英孝さん



in 多賀城・七ヶ浜
サンドウィッチマンさん



in 気仙沼 渡辺謙さん

in 南三陸
さとう宗幸さん

PICK UP Vol.40



in 石巻・牡鹿半島
Hey! Say! JUMP
八乙女光さん



in 塩竈
ぜんりよく★ポーズ
三浦大輝さん
小松笙さん



in 気仙沼
May J.さん



in 女川 中村雅俊さん



in 気仙沼 大島
石崎ひゅーいさん



in 南三陸 富永愛さん



in 東松島
坂本サトルさん

PICK UP Vol.47



最終号

サンドウィッチマンが
感じる宮城の「いま」
サンドウィッチマンさん



in 南三陸
ワッキー貝山さん



in 気仙沼
蝶野正洋さん



特集号
佐藤育美さん



特集号
奥州・仙台おもてなし集団
伊達武将隊・伊達政宗公



in 石巻・雄勝
ムロツヨシさん



in 山元
ティーナ・カーリーナさん



in 塩竈
ATSUSHIさん



in 名取・岩沼
LiLiCoさん



in 石巻
小林武史さん



in 東松島
パンサーさん



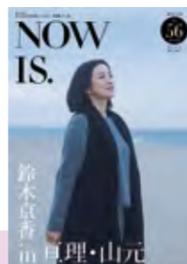
in 女川
葛岡碧さん



in 南三陸
はるな愛さん



in 石巻
水野美紀さん



in 亶理・山元
鈴木京香さん



in 南三陸
さとう宗幸さん



in 名取
里村明衣子さん



in 女川
井ノ原快彦さん

2021.3.11 発行

PICK UP Vol.56

PICK UP Vol.53

PICK UP Vol.25

PICK UP Vol.21

ナウイズ
ハイライト

NOW IS. Highlights 2016 >>> 2021

宮城にまつわる著名な方々にご出演いただき、宮城県内の復興の状況や、復興に向けて取り組んでいる方々の「いま」の姿を紹介しました。

NOW IS. Highlights 2016 >>> 2018

仮設の商店街、東日本大震災で救援にあたった航空自衛隊や陸上自衛隊、ボランティアの若者たち。当時の想いなどを紹介しました。

2018

10月・志津川湾がラムサール条約湿地に登録 (南三陸町)



暖流に育つアラメ、寒流に育つマコブが一緒に見られることや、主に水鳥(コクガン)の越冬地として、国際的に重要な湿地であることが認められた貴重な海です。

11月・東松島市東日本大震災復興祈念公園開園(東松島市)

10月・東北みやぎ復興マラソン2017開催(名取市・岩沼市・亶理町)

7月・芸術と音楽と食の新しい総合祭「リボンアート・フェスティバル2017」が開催(石巻市ほか)

6月・「いしのまき元氣いちば」オープン(石巻市)



津波の脅威や教訓を後世へ伝えるほか、荒浜地区の歴史や文化、小学校の思い出などの資料を展示しています。

震災遺構仙台市立荒浜小学校公開(仙台市)



仮設店舗「伊里前福幸商店街」が、「南三陸ハマレ歌津」として本設オープン。海を一望でき、木のぬくもりを感じられる商業施設です。

4月・「南三陸ハマレ歌津」本設オープン(南三陸町)

2017

3月・「南三陸さんさん商店街」本設オープン(南三陸町)



国が管理する空港として、全国で初めて民営化されました。

7月・仙台空港民営化(名取市・岩沼市)



国内で37年ぶりに医学部を新設。東北の医師不足・偏在の解消や幅広い総合診療能力を持つ医師の育成が期待されています。

4月・多賀城高校災害科学科新設(多賀城市)

2016

2016 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2017 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2018 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2019 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2020 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2021 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2022 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2023 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2024 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2025 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2026 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2027 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2028 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2029 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016 / 2030 NOW IS. HIGHLIGHTS 2016



『復興地』で感じた
力強さと未来への希望。

航空自衛隊 松島基地(東松島市)



「日常」から生まれる推進力。
ここに生きる人の強さ。



若手パワーで
笑顔をサポート！



K-portの前で(気仙沼市)

新しい気仙沼が
着心地のいい服のような
まちになったら。



なんでもない日常を
穏やかに生きるありがたさ。

閑上地区を見渡せる日和山にて(名取市)



思い出と
あの時の気持ちは
この場所の
未来を変えるかも。

震災遺構の旧野蒜駅プラットフォーム(東松島市)



また、あの、「まちの音」を
聞ける日まで。

仮設の南三陸さんさん商店街(南三陸町)



石巻は、日常の幸せが
いっぱい詰まった場所に
なるんじゃないかな。

日和山公園の「たい平桜」(石巻市)

東日本大震災から10年が経過し、新しい商店街などの交流拠点が生まれるとともに、震災の記憶の風化防止を目的とした震災遺構や伝承施設の整備も進められました。

未来へ進む・未来へ伝える

復興のまちめぐり



東松島市

東松島市震災復興伝承館／旧野蒜駅プラットホーム（震災遺構）

津波の生々しい爪痕を残すJR仙石線旧野蒜駅プラットホームを震災遺構として保存。駅舎は、震災復興伝承館として整備され、震災時の様子や復興の歩み、全国からの派遣職員の名板などを展示しています。

DATA

所在地 東松島市野蒜字北余景56-36
問合せ先 0225-86-2985(東松島市震災復興伝承館)

気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館

震災の記録と教訓を伝承するため、「目に見える証」として津波で4階まで被災した気仙沼向洋高校旧校舎を「震災遺構」として保存し、震災時の津波映像や被災直後の写真展示を備える「震災伝承館」と併せて公開しています。

DATA

所在地 気仙沼市波路上瀬向9-1
問合せ先 0226-28-9671(気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館)

気仙沼市



女川町

シーパルピア女川

女川町では、女川駅から海へと続くレンガの遊歩道に沿って、「海が見える公園のまち」をコンセプトとする商業施設、「シーパルピア女川」が平成27年12月に開業しました。平成30年度には、「女川駅前レンガみち周辺地区」が「都市景観大賞」の都市空間部門で大賞(国土交通大臣賞)を受賞しました。

DATA

所在地 女川町女川2-60 **問合せ先** 0225-24-8118(女川みらい創造)

震災遺構

仙台市立荒浜小学校

児童や教職員、地域住民ら320人が避難し、2階まで津波が押し寄せた小学校。被災した校舎のありのままの姿と被災直後の写真展示等により、津波の威力や脅威を後世に伝えていきます。

DATA

所在地 仙台市若林区荒浜字新堀端32-1
問合せ先 022-355-8517
(震災遺構仙台市立荒浜小学校管理事務所)



仙台市

かわまちてらす関上

生まれ変わった関上のまちを照らし、川辺の憩いのテラスとなるよう願いが込められた、関上の新しい商業施設。平成31年4月にグランドオープンし、飲食店や海産物、スイーツのお店など25店舗が軒を連ねます。

DATA

所在地 名取市関上1 (E-65街区1画地)
問合せ先 022-399-6848
(かわまちてらす事務局)

名取市



南三陸さんさん商店街

志津川地区の仮設店舗で営業していた商店街が、平成29年3月3日に本設オープン。「南三陸杉」を使用した平屋6棟に、水産物店や飲食店、土産物店から理容室や文具店など、観光客向けから住民向けまで28店舗が軒を連ねています。

DATA

所在地 南三陸町志津川五日町201 **問合せ先** 0226-25-8903

南三陸町



山元町



山元町震災遺構 中浜小学校

大津波から90人の命を守り抜いた県南唯一の震災遺構です。被災した校舎に立ち入ることができ、津波の痕跡や当時を振り返る映像、子どもたちが一夜を明かした屋根裏倉庫など、震災被害と教訓を強く訴えるスポットで構成されています。

DATA

所在地 山元町坂元字久根22-2
問合せ先 0223-23-1171(震災遺構中浜小学校管理棟)

亘理町

亘理町B&G海洋センター艇庫

平成30年に再オープン。手ぶらでカヌーやサップ、ヨット、釣りなどのマリンスポーツを楽しめます。波が穏やかな鳥の海灣内なので、初心者でも安心です。バイクや自転車で亘理町の沿岸部を巡るツアーも可能。

DATA

所在地 亘理町荒浜鳥の海7-6
問合せ先 0223-33-2210



石巻市

いしのまき元気いちば

石巻の中心市街地に、平成29年6月にオープンした「いしのまき元気いちば」。石巻で水揚げされたばかりの新鮮な魚介類をはじめ、豊富な地元産の食材が揃うマーケットです。

DATA

所在地 石巻市中2-11-11 **問合せ先** 0225-98-5539





Forward Together

震災復興10年
スペシャル動画

東日本大震災からもうすぐ10年。
皆さんの応援とご支援で、
宮城はここまでたどり着きました。
10年間分の「ありがとう」を込めて。



NOW IS.

vol. 58
マイイズ

発行:2021年3月11日 宮城県震災復興本部(事務局:震災復興推進課)
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号
Tel:022-211-2408 Fax:022-211-2493

『復興情報発信プロジェクト NOW IS.』は、宮城の復興の「いま」を伝えるプロジェクトです。

 宮城県
Miyagi Prefectural Government